

静岡大学の現状

平成23年3月

目次

静岡大学の現状

1	平成 23 年度国立大学法人静岡大学予算額の概要……………	1
2	平成 23 年度国立大学法人静岡大学予算額……………	2
3	平成 23 年度静岡大学収入・支出予算額の構成……………	3
4	平成 23 年度特別・特殊要因運営費交付金予算額……………	4
5	運営費交付金対象事業予算の推移……………	5

平成23年度国立大学法人静岡大学予算額の概要

	(収 入)	(支 出)
		特別経費 266,535千円 (330,513千円)
		【△ 63,978千円減】
		特殊要因経費 1,093,690千円 (1,250,656千円)
		【△156,966千円減】
	<内訳>	<内訳>
		退職手当 1,093,371千円 (1,093,371千円)
		【△156,966千円減】
		その他 319千円 (157,285千円)
		【△ 63,978千円減】
【△290,403千円減】	運営費交付金 9,627,082千円 (9,917,485千円)	
	<内訳>	
【△ 69,459千円減】	一般運営費交付金 8,266,857千円 (8,336,316千円)	
【△ 63,978千円減】	特別運営費交付金 266,535千円 (330,513千円)	
【△156,966千円減】	特殊要因運営費交付金 1,093,690千円 (1,250,656千円)	
		常勤教職員人件費 11,248,316千円 (11,304,114千円)
		【△ 55,798千円減】
【△ 1,914千円減】	授業料及び入学検定料 5,922,955千円 (5,924,869千円)	
	授業料免除実施分 333,530千円 (333,530千円)	
【△ 35,038千円減】	雑収入 160,706千円 (195,744千円)	
		教育研究経費 3,102,202千円 (3,152,815千円)
		【△ 50,613千円減】
		授業料免除実施経費 333,530千円 (333,530千円)
		【△ 333,530千円減】
	運営費交付金対象 事業費	16,044,273千円 (16,371,628千円)

※1 外部資金（受託研究等収入、寄附金収入、補助金収入等）にかかる計数は含んでいない。
 ※2 各項目の（ ）書きは、前年度の金額であり、【 】書きは、前年度からの増減額である。

平成23年度国立大学法人静岡大学予算額

【運営費交付金対象事業費】

(単位：千円)

収 入					支 出				
区 分	前年度 予算額	平成23年度 予定額	差引比較 増△減額	増△減率	区 分	前年度 予算額	平成23年度 予定額	差引比較 増△減額	増△減率
国立大学法人 運営費交付金	9,917,485	9,627,082	△ 290,403	△ 2.9%	教育研究経費等	14,790,459	(△73,906) 14,684,048	△ 106,411	△ 0.7%
一般運営費交付金	8,336,316	8,266,857	△ 69,459	△ 0.8%	常勤教職員人件費	11,304,114	(△55,798) 11,248,316	△ 55,798	△ 0.5%
特別運営費交付金	330,513	266,535	△ 63,978	△ 19.4%	教育研究経費	3,152,815	(△18,108) 3,102,202	△ 50,613	△ 1.6%
特殊要因運営費交付金	1,250,656	1,093,690	△ 156,966	△ 12.6%	授業料免除実施経費	333,530	333,530	0	-
授業料 入学検定料	6,258,399	6,256,485	△ 1,914	△ 0.0%	特殊要因経費	1,250,656	1,093,690	△ 156,966	△ 12.6%
定員分	5,351,134	5,343,093	△ 8,041	△ 0.2%	退職手当	1,093,371	1,093,371	0	-
検定料及び定員超過分	573,735	579,862	6,127	1.1%	その他	157,285	319	△ 156,966	△ 99.8%
授業料免除実施分	333,530	333,530	0	-	特別経費	330,513	266,535	△ 63,978	△ 19.4%
雑収入	195,744	160,706	△ 35,038	△ 17.9%	支出合計	16,371,628	16,044,273	△ 327,355	△ 2.0%
収入合計	16,371,628	16,044,273	△ 327,355	△ 2.0%					

【運営費交付金対象総事業費】

(単位：千円)

収 入					支 出				
区 分	前年度 予算額	平成23年度 予定額	差引比較 増△減額	増△減率	区 分	前年度 予算額	平成23年度 予定額	差引比較 増△減額	増△減率
運営費交付金 対象事業費	16,371,628	16,044,273	△ 327,355	△ 2.0%	運営費交付金 対象事業費	16,371,628	16,044,273	△ 327,355	△ 2.0%
受託事業収入等	1,814,635	1,661,810	△ 152,825	△ 8.4%	受託事業費等	1,814,635	1,661,810	△ 152,825	△ 8.4%
収入合計	18,186,263	17,706,083	△ 480,180	△ 2.6%	支出合計	18,186,263	17,706,083	△ 480,180	△ 2.6%

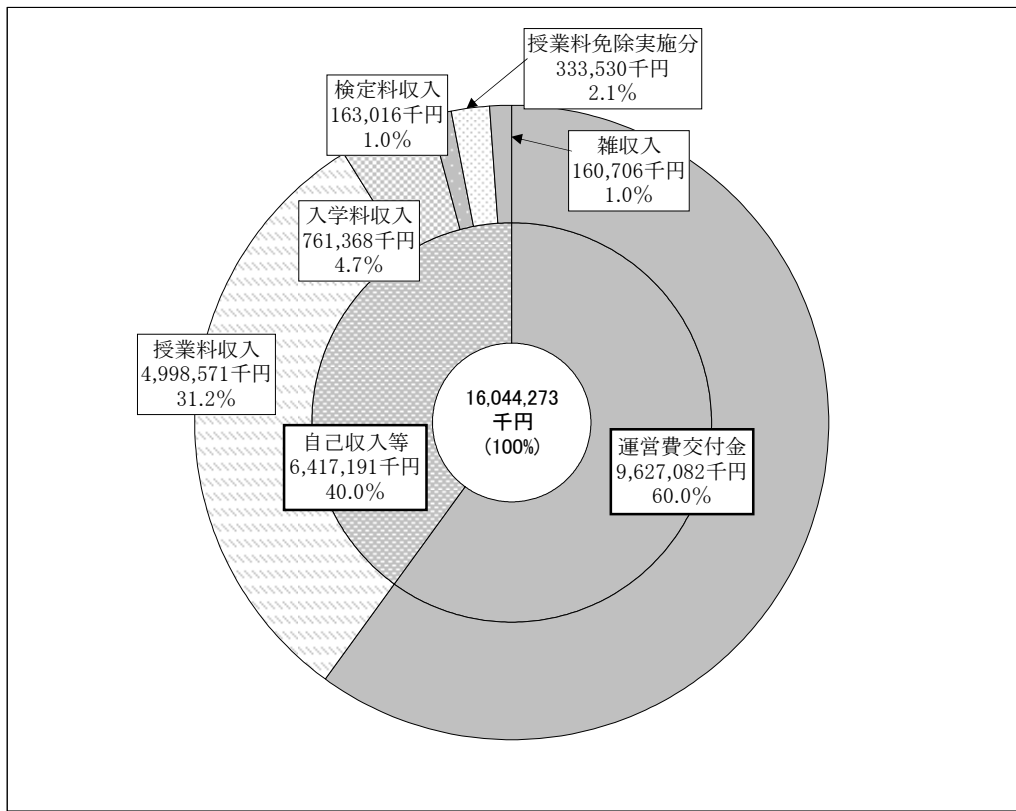
※1 平成23年度予定額上段()書きは大学改革促進係数対象経費の減で内数

※2 前年度予算額は、授業料免除実施に係る額を組替え計上

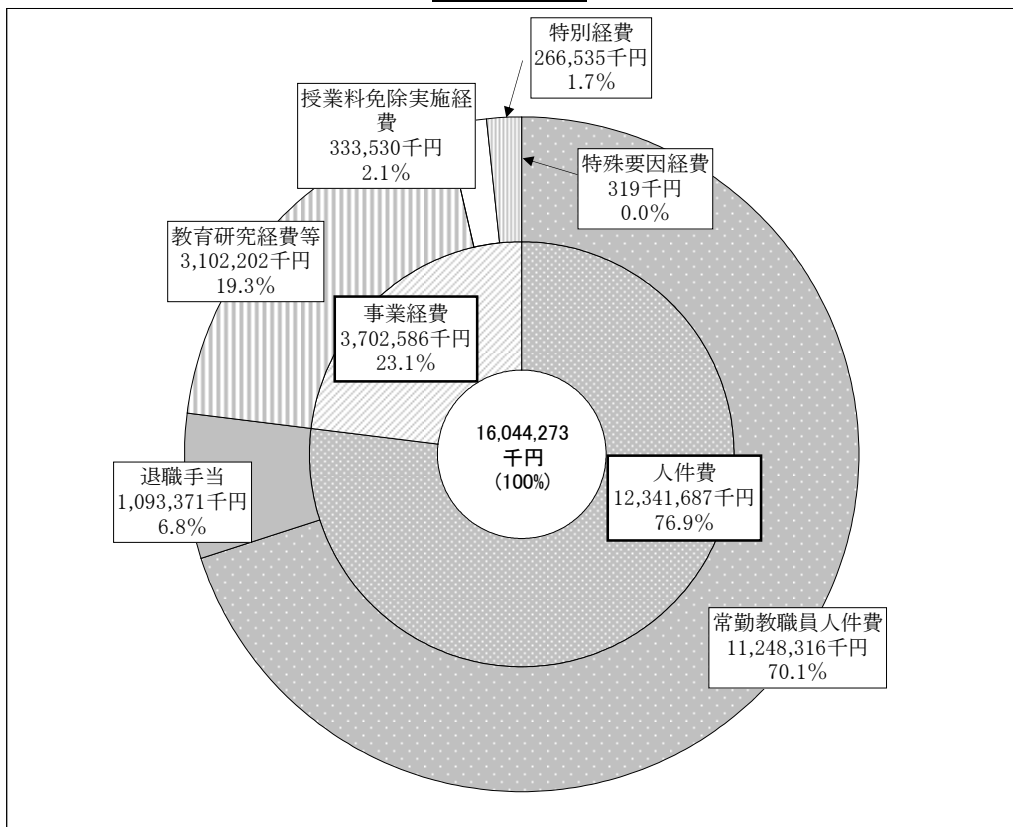
平成23年度静岡大学収入・支出予算額の構成

《運営費交付金対象収入・支出》

収入



支出



平成23年度特別・特殊要因運営費交付金予算額

【特別運営費交付金】

(単位:千円)

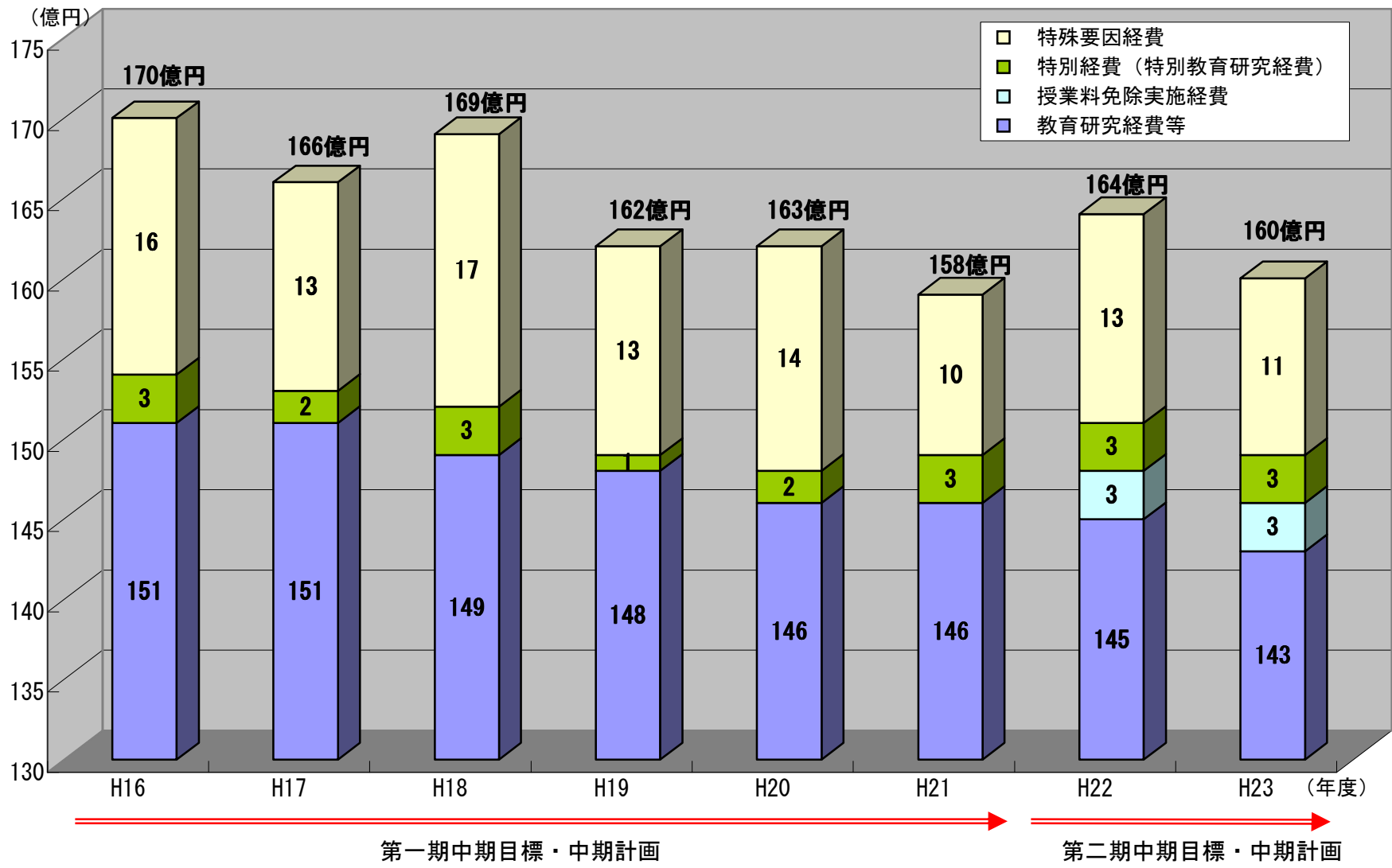
分類	区分	継続新規等	事項名	事業概要	平成23年度 予算額
プロジェクト分	①国際的に卓越した教育研究拠点機能の充実	継続	異分野技術の融合による革新的画像工学創成事業	現在は積極的に画像応用向けに研究されていない学際技術を画像工学に融合し、究極性能の実現を目指す革新的な画像工学を創成する。これを早急にかつ効率よく実施するため、国内外の学際領域の研究者と分散型の共同研究を積極的に進める。	67,608
		継続	ダブルディグリープログラムに基づくグローバルナノバイオテクノロジー推進のための人材育成プログラム	ドイツ、韓国大学間での博士課程ダブルディグリープログラムに基づきナノバイオテクノロジー教育研究推進体制を整備し、静岡での実践的研究を体験した外国人博士と、リーダーシップを有する日本人博士を世界、留学生母国、地域・産業界へ輩出する。	24,000
		継続	国際化をめざした秋季入学留学生プログラムの充実—東南アジアから工学部への秋季留学—	地域製造業の海外戦略を支え日本のプレゼンスを高めるべく、東南アジアを対象とした秋季入学プログラムにおいて、英語・日本語の二ヶ国語で行われる授業などで教育プログラムの充実を図り、その成果を日本人学生の国際化および士力の向上につなげる。	25,403
	②高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実	継続	多角的な社会連携による自己発見教育の推進	本プロジェクトは、静岡大学大学教育センターが中核となり、人文、農学、情報、工学の各学部における文系理工系学生に実感ある教育を行うフィールドワーク、ものづくり、情報教育などを統合連携して、行う企画である。	5,200
		新規	質の高い教員の育成を目指した教材開発及び新人・中堅教員育成プログラム策定と効果検証のための地域共同プロジェクト	附属学校園や連携協力校の協力のもとで、質の高い教員の育成を目指して、新領域・教科横断的教材開発及び新人・中堅教員育成プログラムの策定とそれらの成果検証を行い、大学全体としての教員養成教育の質的向上に貢献することを目指す。	6,056
	④大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実	継続	高齢化・福祉社会を支えるナノバイオ・ナノテクノロジー研究の推進—静大独自機能性ナノ材料や医療用補助計測装置でよりよく食べる・よりよく暮らす—	生命原理や機能を光・電子・ナノテクノロジーと融合させたナノバイオ基盤技術の開発により、高齢化対応持続可能な社会を支える食科学、高齢化対応計測機器や医療補助計測システムなど新たな科学技術を切り拓く。	27,300
		新規	未利用バイオマスのCO2削減・エネルギー・資源利用による低炭素循環型社会推進—文理融合型の新学際組織の構築—	高山・乾燥地・湿地帯・沿岸海洋等に生息および蓄積する未利用・未評価のバイオマス炭素量・炭素固定量およびそのエネルギー・資源利用の可能性、CO2削減5%実現のための陸域・海洋バイオマスの生産技術の開発、バイオ循環を組み込んだ低炭素社会実現のためのモデルシナリオの構築による文理融合型の環境研究の展開	40,900
	⑥地域貢献機能の充実	継続	地域連携を通じた防災教育の多面的展開と拡充—「しずおか防災コンソーシアム」プロジェクト—	現状の防災教育プログラムに更なる広がりと多様性を持たせ学部から大学院生まで継続的に多方面から学べるものとするため、静岡県危機管理局(防災局から改組)や民間団体と連携した「しずおか防災コンソーシアム」を形成・発展させ、静岡県の高等教育の地域性あるプログラムとする。	12,272
		新規	農業ビジネス起業人育成拠点の構築—地域資源を活用した持続的な人材育成&地域活性化—	大学、製造業、流通業界等とのコンソーシアムを構築し企業の農業経営実践力を有する即戦力人材を育成するため、「栽培基礎技術」、「経営管理技術」、「先端管理技術」などの先進的技術に関する講義と高度栽培施設における経営能力を習得する実習を組み合わせたカリキュラムによる、大学院修士課程農業ビジネス起業人育成コースを共生バイオサイエンス専攻内に設置する。	13,855
	教育基盤強化支援分	教育基盤強化支援分	新規	国立大学教育基盤強化支援経費	国立大学に在籍する社会人学生、留学生、障害を持つ学生などの多種多様な学生の特別なニーズに、より的確に対応する充実したサポート体制・支援指導体制等の教育基盤を強化することにより、より多くの優れた人材の養成を推進するための経費。
合 計					266,535

【特殊要因運営費交付金】

(単位:千円)

事項名	事業概要	平成23年度 予算額
退職手当	第2期中期目標期間の所要見込額に基づく平均額	1,093,371
一般施設借料(土地建物借料)	中川根演習林、上阿多古演習林、天城フィールドセミナーハウス等の土地借料	319
合 計		1,093,690

運営費交付金対象事業予算の推移



※ H22年度から授業料免除実施経費を組替え計上